

『体系的なキャリア教育・職業教育に向けた
インターンシップの更なる充実に関する調査研究協力者会議』

地域におけるPBL+SLの実践

～地域の再生と創造を担う人材の育成に向けて～

2013年4月22日(月)

北九州市立大学

地域創生学群

真鍋和博

自己紹介 主な仕事・役割

- 経歴**
- 1970年 北九州市出身
 - 1992年 株式会社リクルート 入社
 - 人材採用、学校広報、適性検査、キャリア、営業・企画
 - 2006年4月 北九州市立大学 キャリアセンター
 - 2009年4月 地域創生学群(基盤教育センター)
- 仕事**
- 地域実習コーディネート、学生指導
 - 基盤科目の授業
 - 地域創生学群長、地域共生教育センター長、就職、広報ほか
 - We Love小倉協議会副会長、北九コン副実行委員長 ほか
 - 北九州市ブランド推進委員会 委員長 ほか
 - 日本インターンシップ学会常任理事、九州支部副支部長
 - 悩める学生の相談

●●●● 地域創生学群の概要

学部名称：地域創生学群

コース：地域マネジメント,地域福祉,地域ボランティア養成

修業年限：4年 ※最長6年の長期履修制度有

学 位 ：学士(地域創生学)

授業時間：月～土、1～7限(9:00-21:10)

設置時期：平成21年4月

定員 ： 90名(AO15/社会人特別40/一般35)

志願状況

選抜方法	AO選抜(定員15名)		一般選抜(定員35名)	
	志願者数	志願倍率	志願者数	志願倍率
入試年度				
平成21年度	154名	10.3倍	444名	12.7倍
平成22年度	91名	6.1倍	848名	24.2倍
平成23年度	97名	6.5倍	444名	12.7倍
平成24年度	101名	6.7倍	405名	12.3倍
平成25年度	98名	6.5倍	355名	10.1倍

・本年度は一般選抜(前期)で歩留り率97.5%

【AO選抜】

- 1次選考/模擬授業の受講とレポート(200)
- 2次選考/面接・自己推薦書(200)

【一般選抜】

- センター試験/2教科2科目(200)
- 個別学力試験/小論文(100)

面接(志望理由書,調査書含・200)

活動・資格等実績申告書(100)

※特徴的な「面接」を実施

地域創生学群設置の目的

地域の
再生と創造



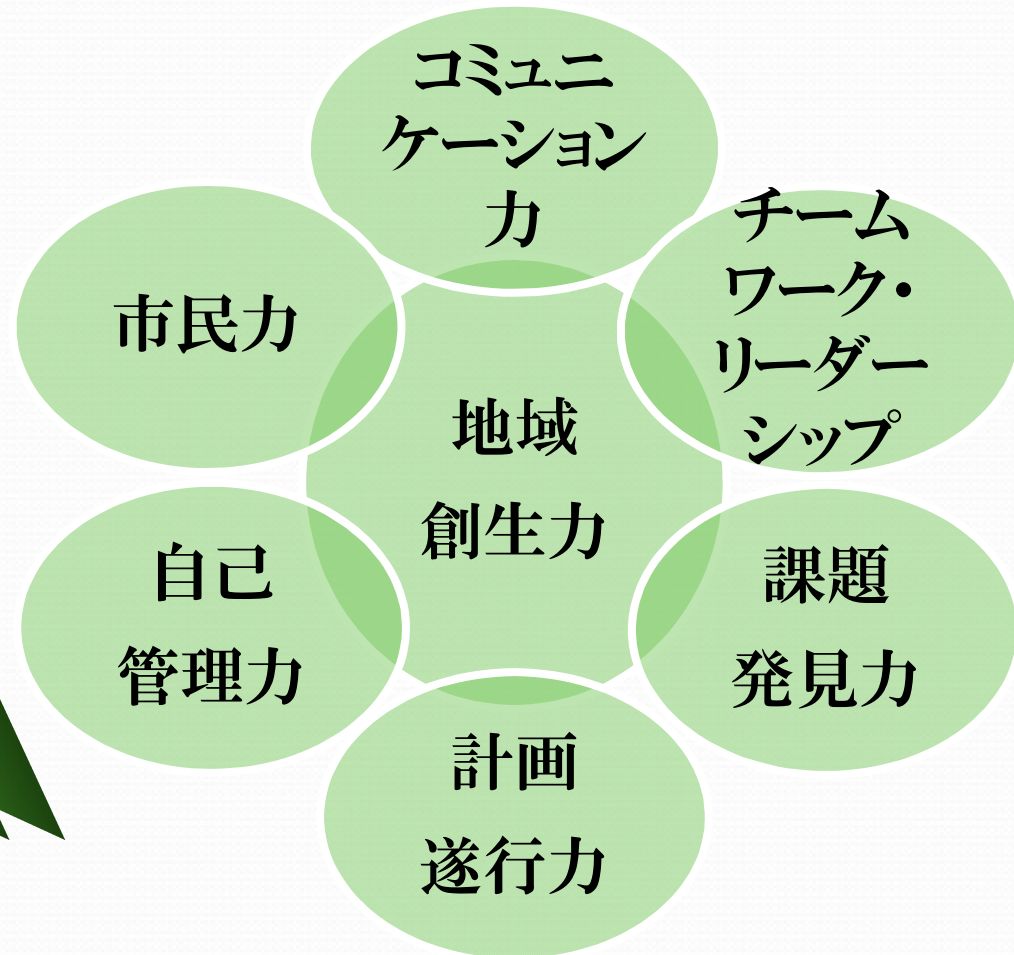
実践できる
人材の輩出



地域創生力
の獲得



地域創生力



実習、演習を相互に組み込んだ教育システム

1年次

指導的実習 I・II

2年次

地域創生実習 I・II
スポーツボランティア実習 I・II
障害者スポーツ実習 I・II

3年次

地域創生実習 III・IV
スポーツボランティア実習 III・IV
障害者スポーツ実習 III・IV

4年次

地域創生演習 C・D
相談援助演習 5

卒業論文・卒業実践報告

地域創生フォーラム

地域創生基礎演習 A・B

各コース実践論 I・II
地域創生基礎演習 C・D
相談援助演習 1・2

各コース実践論 III・IV
地域創生演習 A・B
相談援助演習 3・4

○地域創生学群
専門基幹科目
専門科目

○基盤教育センター
ビジョン科目、スキル科目
テーマ科目、キャリア科目

テーマ科目
情報教育科目
外国語教育科目

学生ポートフォリオによる地域創生力獲得支援

学生の活動

教員との面談

- 地域創生力レベルチェック
- 地域創生力向上目標設定
- 活動計画策定

地域創生力向上活動

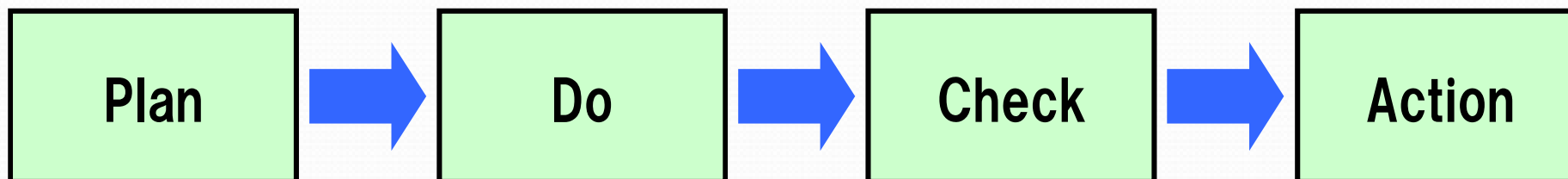
- 演習・実習
- ボランティア活動
- インターンシップ

評価・被評価

- 基礎力レベルチェック
- 自己評価
- 他学生評価
- 教員評価
- 実習先評価

教員との面談

- 年間振り返り
- 地域創生力向上確認
- 次年度プレビュー



地域創生力レベル別行動例

- 地域創生力レベルチェックシート
- 地域創生力表示シラバス
- 地域創生力向上活動一覧
- 目標設定シート

活動ピックアップシート

地域創生力レベルチェックシート

360度評価シート

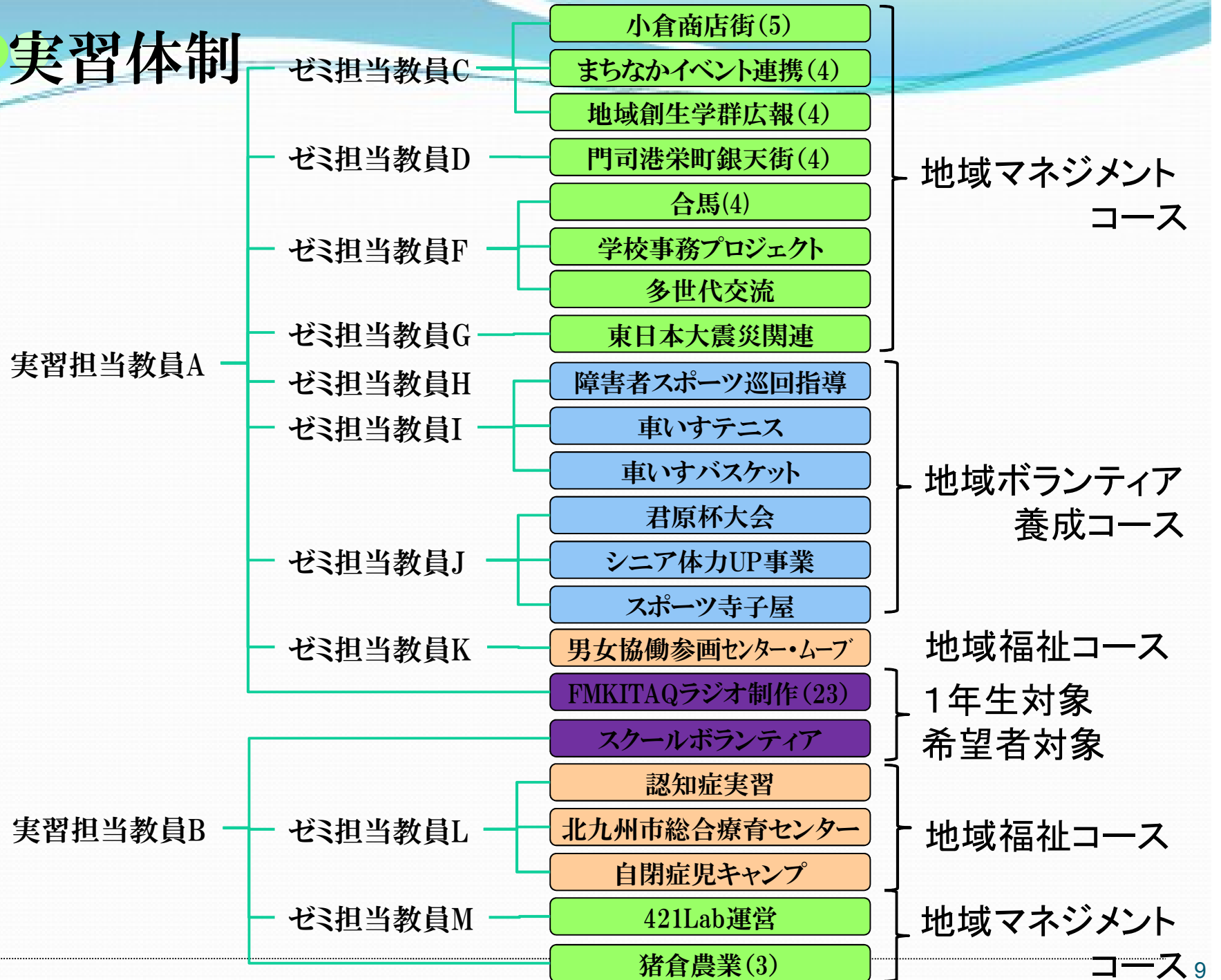
自己評価/教員評価/学生相互評価/実習先評価

振り返りシート

KSP(kitakyu Sosei Portforio) によるマネジメント

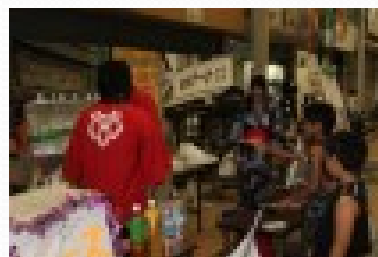


実習体制

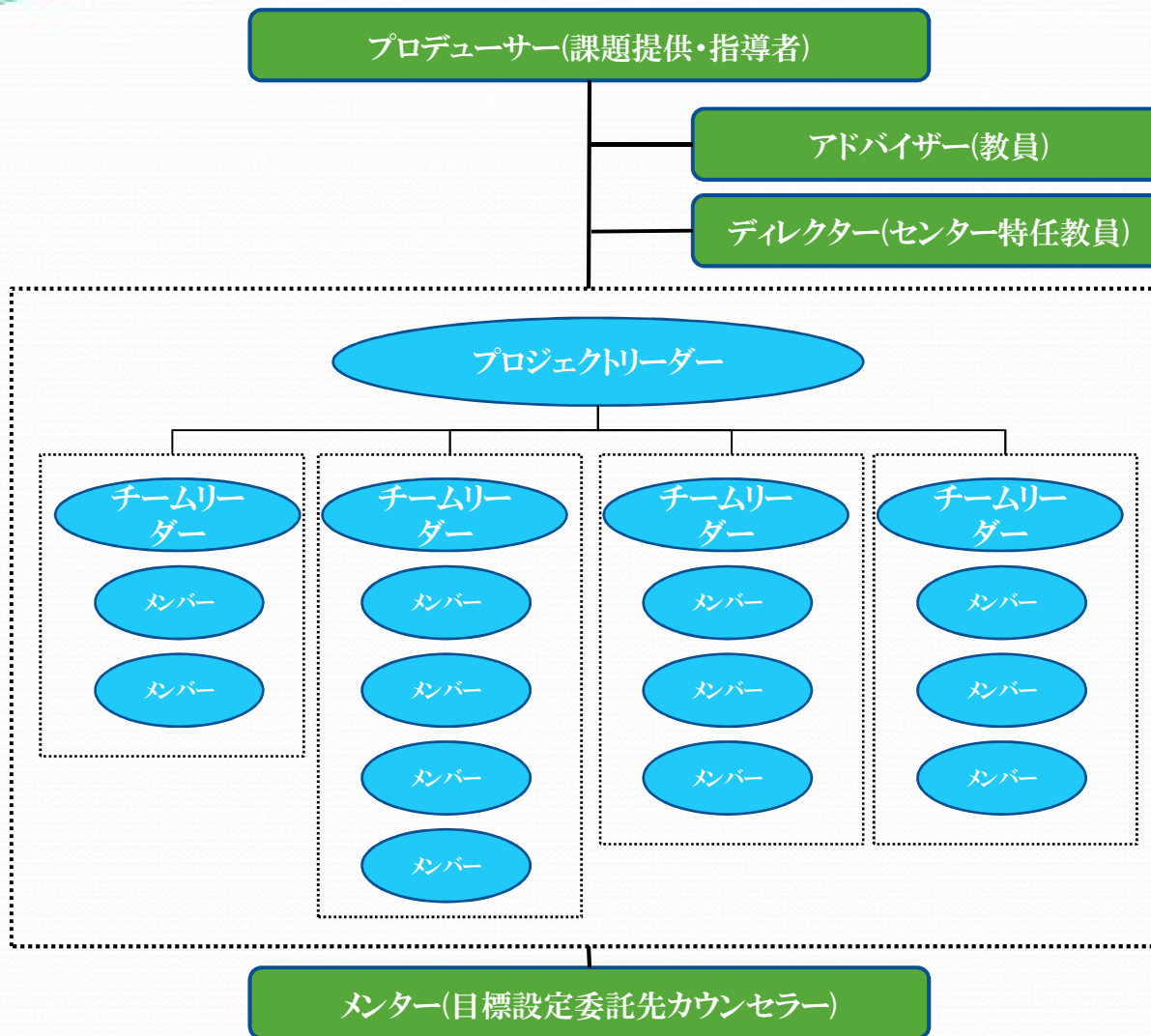


●●●● 本学の地域実習の特徴

- 数名から十数名のチームで活動する
- 基本的に1年次から3年次まで、通年で活動
- ボランティアと課題解決が同時並行 (PBL + SL)
- 地域に出るにあたってのマナー徹底
- 交流の機会と日常的な「場」の設定
- 実習テーマを教員が設定する



プロジェクトの組織例



プロデューサー(課題提供・指導者)
学生が取り組むESD課題を提供していただきつつ、プロジェクトの成功に向けて学生を指導する。

アドバイザー(教員)
プロジェクトの質が向上させたり、リスクを回避できるように専門的視点からチームにアドバイスをする。

ディレクター(センター特任教員)
プロジェクトの目標と学生の力量がマッチしているかどうかや、スケジュールイメージ、チームビルディングなどを担当する。終了までチームと伴走する。

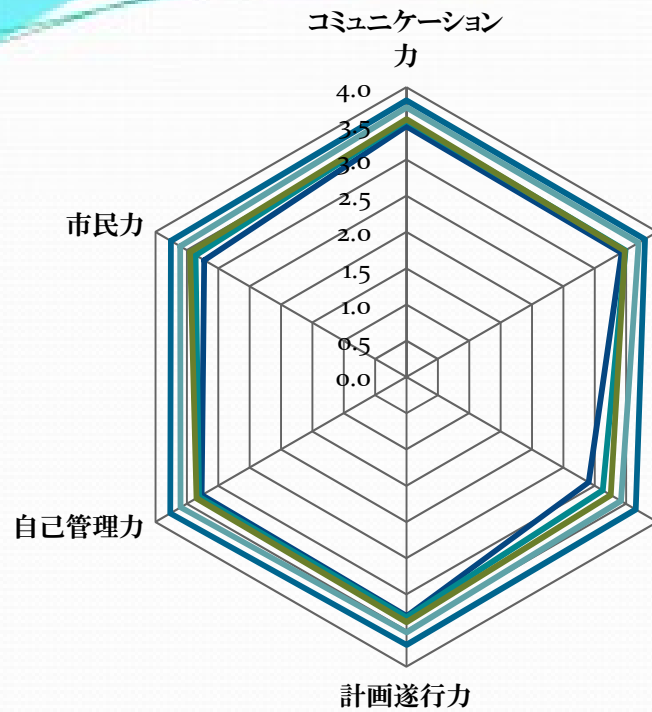
メンター(目標設定委託先カウンセラー)
学生個人の目標設定を行い、活動プロセスで行き当たる壁やトラブル等に対してコーチングを行いながら、学生の成長を促す。

●●●● 学生の成長のトリガー

- 目標設定/活動の目的と目標の共有
- チームビルディング/リーダーとフォロワー、役割設定
- 成果物/発表、イベント実施、報告書等
- 教員の適度な距離/ペースメーカー,ファシリテーター
- 追い込む/逃げられない状況からやり遂げる

地域創生力の伸長

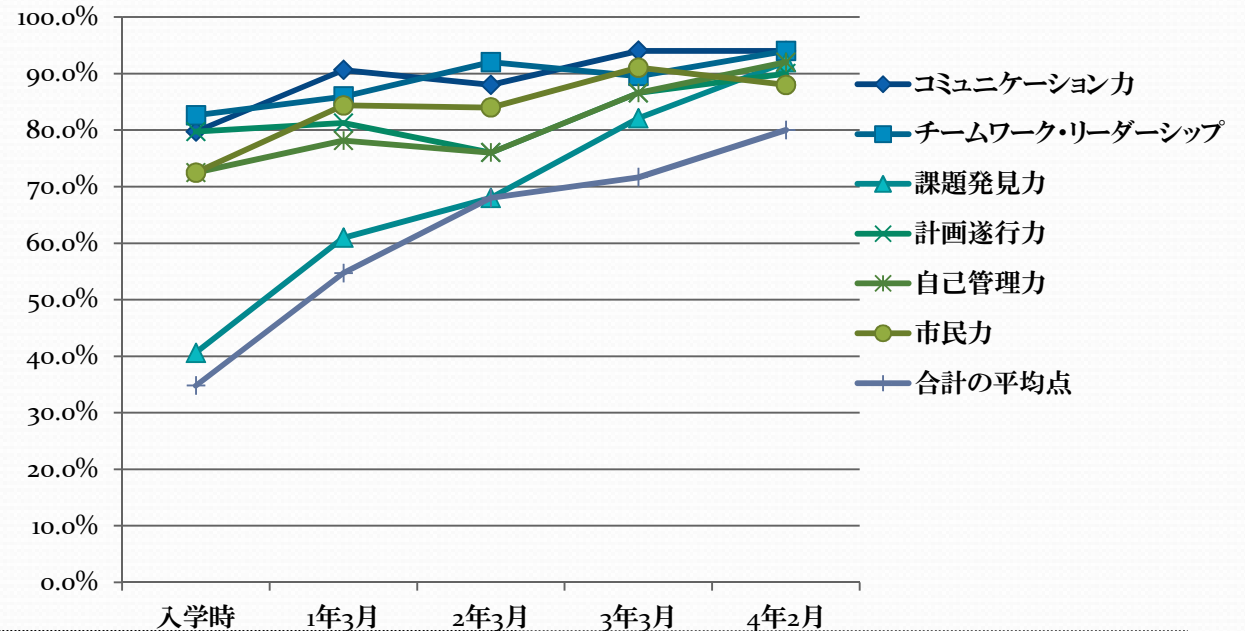
各項目の平均点の推移



チームワーク・リーダーシップ

- 入学時（69名）平均点
- 1年3月（64名）平均点
- 2年3月（25名）平均点
- 3年3月（67名）平均点
- 4年2月（50名）平均点

レベル3以上の占める割合の推移（%）



第1期生の進路状況(昼間枠)

進路希望	人数	決定者数	内定率
民間企業就職希望者	57	57	100%
公務員就職希望者	6	3	50%
大学院進学者	1	—	—
合計(卒業者)	64		

就職先の特徴

- 全国大手より地元大手、中堅
- 業種が多岐にわたる
- 複数内定獲得者多い
- 実習態度や成績にリンクする？

地域共生教育センター(通称421Lab.)

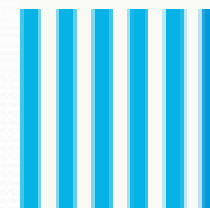
I プロジェクト型

CROSSFM番組制作((株)CROSS FM)

エコスタイルカフェ(市環境局)

スクールボランティア(市教委)

東日本震災関連プロジェクト など



421 Lab.

さくら市 地域共生教育センター
Regional Symbiosis Education Center

II マッチング型

漫画ミュージアム学生サポーターズ(学内)

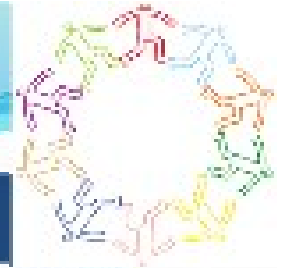
YAHATAHAHAHAプロジェクト(八幡駅前開発(株))

環境修学旅行案内ガイド(市産業経済局)

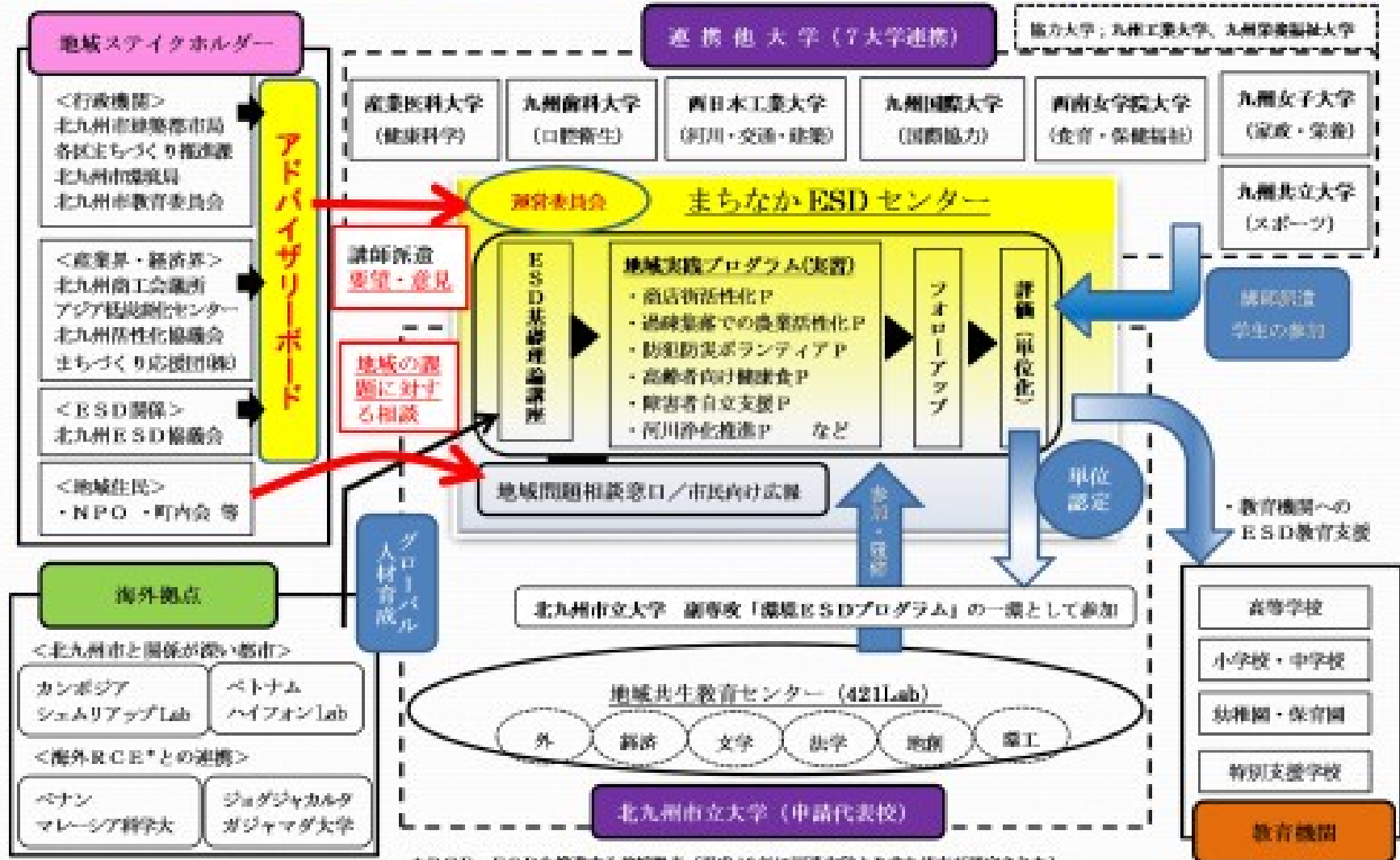
城南中学校学力向上サポートプロジェクト など

III インフォメーション型 多数

北九州まなびとESDステーション



まちなかESDセンターを核とした実践的人材育成（概念図）



*RCE: ESDを推進する地域拠点(平成18年に国際大学より北九州市が認定された)

●●●● 今後の展望_私の視界から

- アウトカムの設定と検証
- 長期インターン、起業支援(教育として位置付け)
- エンrollmentマネジメント、特に入試と広報
- 421Lab.の質向上
- 北九州まなびとESDステーションのカオス化



ご清聴ありがとうございます。

manabe@kitakyu-u.ac.jp